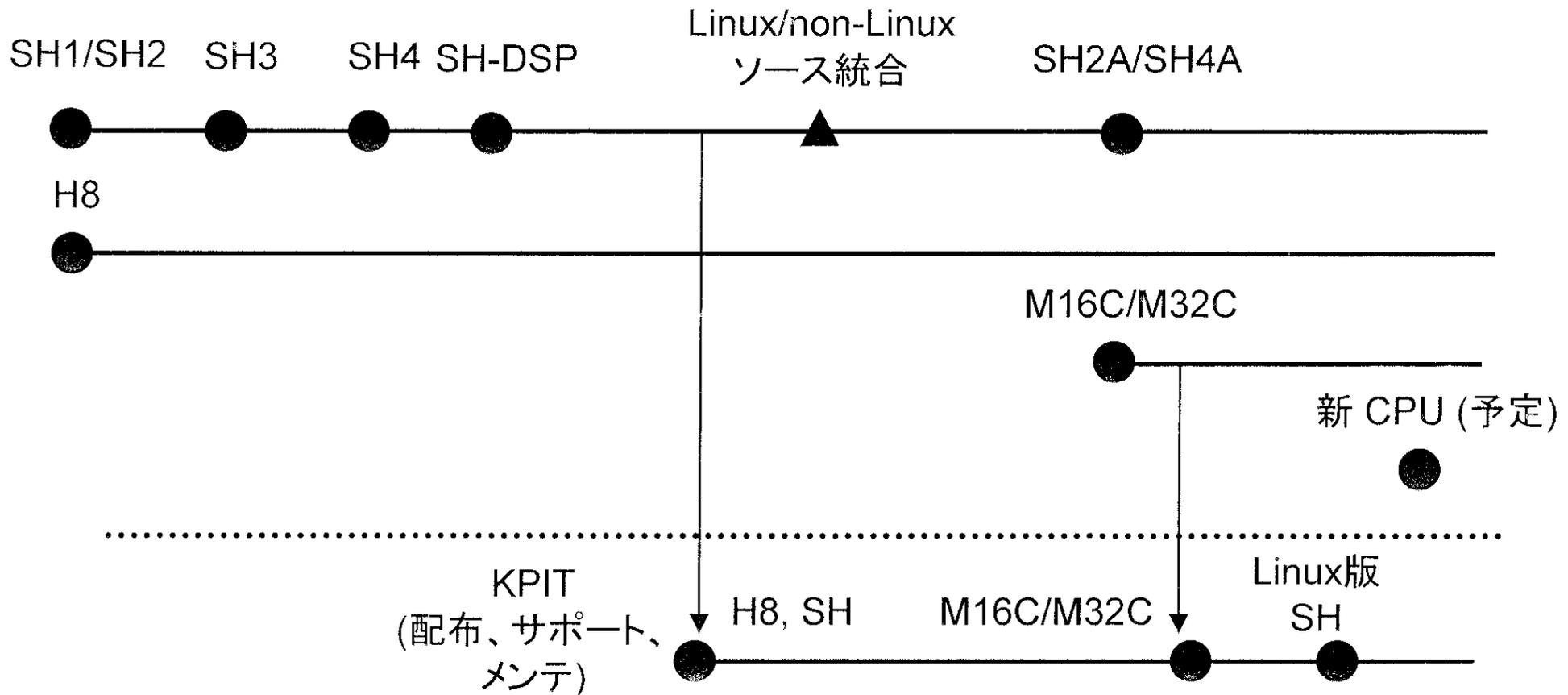
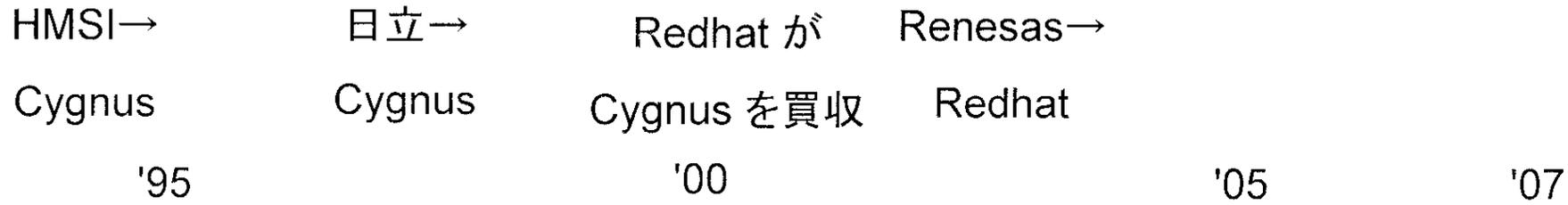


GNU コンパイラ状況と方針

株式会社ルネサスソリューションズ

ツールビジネス本部

GNU コンパイラ開発経緯



GNU メンテナ

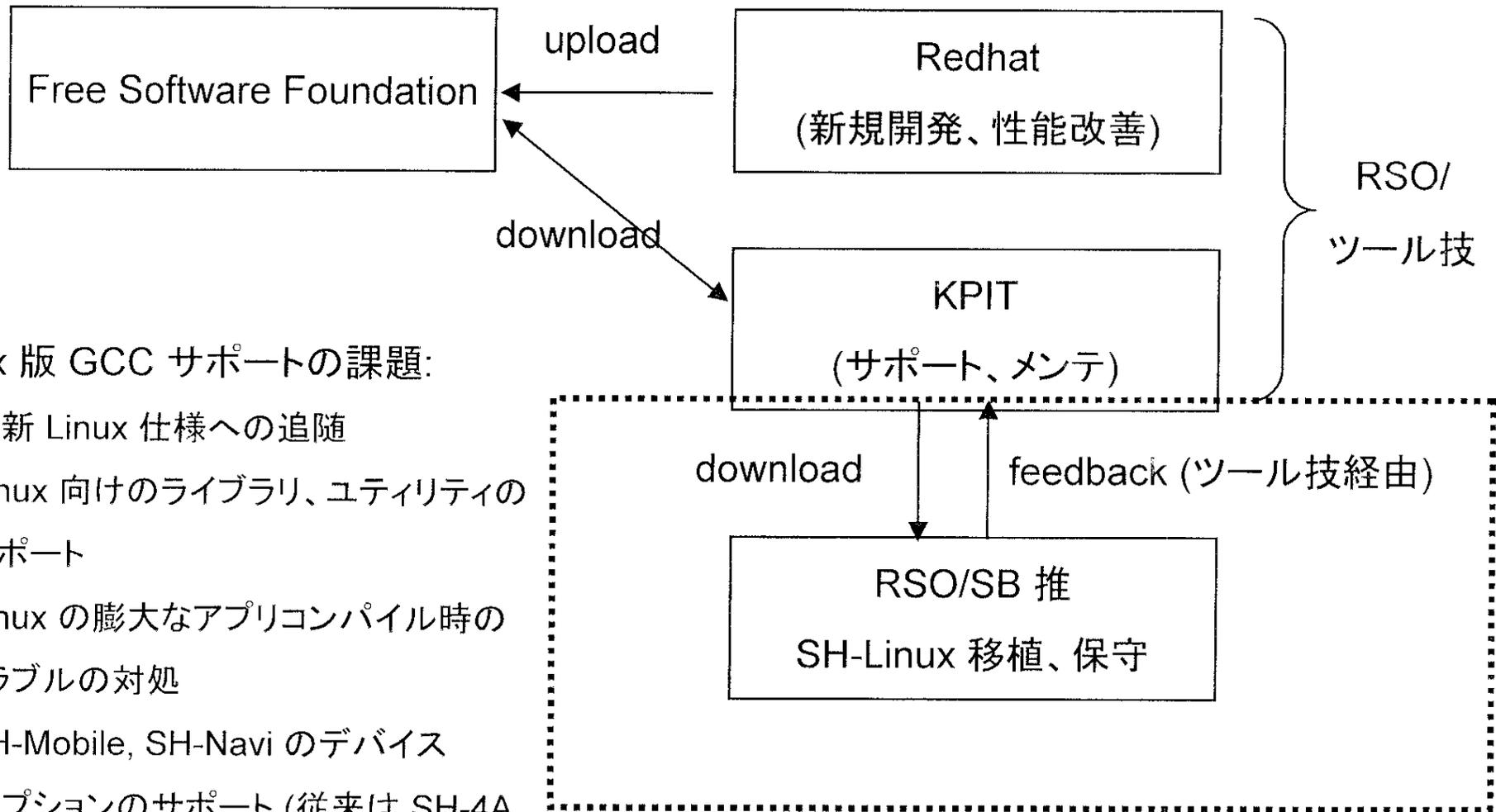
コンパイラ

H8	Jeff Law	Redhat
	Kazu Hirata	Code Sourcery
M16C/M32C	DJ Delorie	Redhat
SH	Alexandre Oliva	Redhat
	Kaz Kojima	フリー

アセンブラ、リンカ等

H8	Anil Paranjpe	KPIT
SH	Alexandre Oliva	Redhat
	Kaz Kojima	フリー

GCC 開発モデル



Linux 版 GCC サポートの課題:

- (1) 最新 Linux 仕様への追随
- (2) Linux 向けのライブラリ、ユーティリティのサポート
- (3) Linux の膨大なアプリコンパイル時のトラブルの対処
- (4) SH-Mobile, SH-Navi のデバイスオプションのサポート (従来は SH-4A 標準デバイスに重点)

Linux GCC サポートの課題と対策

- 方針: (1) Linux 固有の開発/サポートは SB 推で推進。GCC 全般 (non-linux 含む) に関わる案件はツール技で対応 (SB 推、ツール技で協議して推進)
- (2) GCC およびツールチェーンの改善は Free Software Foundation へのフィードバックを実施

項番	課題	対策	対応部署
1	最新 Linux 仕様への追従	Codesourcery 等 Linux ツールチェーンに実績のある会社を活用した開発/サポート実施	SB 推
2	Linux 向けのライブラリ、ユーティリティのサポート		
3	Linux の膨大なアプリコンパイル時のトラブルの対処	KPIT を活用した不具合対策強化	ツール技
4	SH-Mobile, SH-Navi のデバイスオプションのサポート (従来は SH-4A標準デバイスに重点)	Linux サポートデバイスにも重点を置いた開発、サポート体制の強化	ツール技

GNU コンパイラ開発会社比較

	Redhat	KPIT	Code Sourcery
メリット	ルネサスマイコン GCC 開発元 (メンテナ、最適化技術) 組み込み用途 GCC の実績	ルネサス GCC の配布、サポートの実績	Linux 用ツールチェーンの実績
技術力	高	中	高
開発費	高 (2~3M¥/人月)	低 (0.3M¥/人月)	高 (2~3M¥/人月)
活用方針	GCC 本体の新規開発、性能向上	GCC 本体、Linux ツールチェーンのメンテナンス、配布、サポート	Linux 向けツールチェーンの開発